

## 私たちと税金

沖縄市立美里中学校3年 山城 優海

私は小学四年生の頃から児童福祉施設に入所して生活しています。施設では、一日三食のご飯を食べたり、学校から帰ってきたらおやつがあったり、塾に通って勉強したりする生活をしています。また、体調を崩したときには、病院受診をして薬をもらったり、学習用具が不足していたら揃えてもらうことができます。このような当たり前の生活は税金によって成り立っているとききました。

では、税金はどこから来ているのか、疑問に思い調べてみました。すると、税金は色々な種類があることがわかりました。その中から六つ紹介します。一つ目は消費税です。これは買い物をしたときに払う税のことです。二つ目は所得税です。これは働いている人が給料から引かれる税のことです。三つ目は住民税です。これは住民がそれぞれ住んでいる（会社がある）都道府県や市区町村に納める税金のことです。これも所得税と同じように働いている人が払います。四つ目は法人税です。これは会社が支払う税金です。五つ目は酒税です。これは日本酒、ビールなど、お酒を買ったときにかかる税金のことです。六つ目はタバコ税です。この税も酒税と同様にタバコを買ったときに支払う税のことです。

消費税以外は大人や働いている人が払っていることがわかり、私達の生活はそのような人々のおかげで成り立っているということに気づき私には何ができるのか考えました。しかし、中学生の私には税金を払うこともできないし税がないと最初に書いたような当たり前の生活もできません。考えても答えが出ず施設の職員に尋ねてみると「今いっぱい勉強して将来働いて税金を納める義務を果たしたらいいよ」と言われました。それを聞いて私は今はできないけど将来働けるようにしっかり学校に行き授業を受けようと思いました。私が成人したときにはしっかり働いて税金を納めて社会に恩返しをしていきたいと思います。また、施設には私と同じように家庭の事情で親と離れて暮らしていて税の力を借りて生活している子達がたくさんいます。その子達にも税金について知ってもらえるように話ができたらいいなと思います。最後に今回は施設で生活している私のことを例に挙げましたが税金はすべての国民が当たり前の生活ができるように使われる事になってます。施設で生活している子だけでなく私達学生教科書などにも税金が使われていることがわかりました。なのでみんなが税金に対して興味を持ち考えていくことがまだ働くことができない私達にできることなのではないでしょうか。